

科目名 (科目番号)	解剖学Ⅱ (人体構造学) (時間割参照)	教員名 本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			授業形態	講義	オフィスアワー	水・2～3 B316研究室	
授業概要	解剖学Ⅰに引き続き、運動器と神経系について学習する。解剖学総論（解剖学用語、臓器の位置関係、体控）により、解剖学Ⅰで学習をした知識の復習をし、次に骨格系（骨の名称、関節）、筋系、神経系について学習をすすめ、解剖学の知識を完成させるための学習をします。						
目的・目標	目的:解剖学総論(解剖学用語、臓器の位置関係、体控)等を理解し、運動器と神経系を学習する。 目標:正常解剖から様々な疾患で運動器や神経系の構造がどのように変化するかを理解し、以降に学ぶ画像解剖学等のための基礎知識の習得を目標とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	解剖学概論	到達目標:人体外部と内部の三次元構造とそれらに対する解剖学用語を理解する。 学習内容:人体の区分、方向を表す用語、解剖学的基礎事項を学習する。				
	2	骨格系・筋系の基本構造	到達目標:骨格系、筋系について理解する。 学習内容:各部の骨の名称、関節、筋の構造とその分類について学習する。				
	3	脊柱、背部の筋	到達目標:脊柱、背部の筋について理解する。 学習内容:椎骨、背部の筋の構造と働きについて学習する。				
	4	胸部の骨格・筋、腹部の筋	到達目標:胸部の骨格・筋、腹部の筋について理解する。 学習内容:胸部の骨格、胸部の筋、腹部の筋の構造と働きについて学習する。				
	5	骨盤部の骨格・筋	到達目標:骨盤部の骨格・筋について理解する。 学習内容:骨盤部の骨格、骨盤部の筋の構造と働きについて学習する。				
	6	上肢の骨格	到達目標:上肢の骨格について理解する。 学習内容:上肢の骨格の構造と働きについて学習する。				
	7	上肢の筋	到達目標:上肢の筋について理解する。 学習内容:上肢の筋の構造と働きについて学習する。				
	8	下肢の骨格	到達目標:下肢の骨格について理解する。 学習内容:下肢の骨格の構造と働きについて学習する。				
	9	下肢の筋	到達目標:下肢の筋について理解する。 学習内容:下肢の筋の構造と働きについて学習する。				
	10	頭頸部の骨・筋	到達目標:頭頸部の骨格・筋について理解する。 学習内容:頭頸部の骨格、頭頸部の筋の構造と働きについて学習する。				
	11	神経系の基本構造	到達目標:神経組織、中枢神経系と末梢神経系について理解する。 学習内容:神経組織、神経系の構造を学習する。				
	12	中枢神経系	到達目標:中枢神経系について理解する。 学習内容:大脳・間脳・中脳・橋・小脳・延髄・脊髄の構造と働き、また伝導路について学習する。				
	13	末梢神経系	到達目標:末梢神経系について理解する。 学習内容:脳神経と脊髄神経の走行と標的器官の相互の位置関係と働きについて学習する。				
	14	自律神経系	到達目標:自律神経系について理解する。 学習内容:交感神経と副交感神経系、内分泌ホルモン系の働きについて学習する。				
	15	視覚器、聴覚器、平衡覚器	到達目標:視覚器、聴覚器、平衡覚器について理解する。 学習内容:眼と耳の構造と働きについて学習する。				
成績評価の方法・基準	確認課題（30%）＋期末試験（70%）（対面、オンライン共通）						
教科書	プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	中野隆	医学書院				
参考図書	人体解剖学 改訂第42版	藤田恒太郎	南江堂				
教員からのメッセージ	自分が疑問に思うことは、他人も疑問に思うことが多いです。講義中の質問は非常に役立つので、疑問点があるときは、積極的に質問をしてください。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						